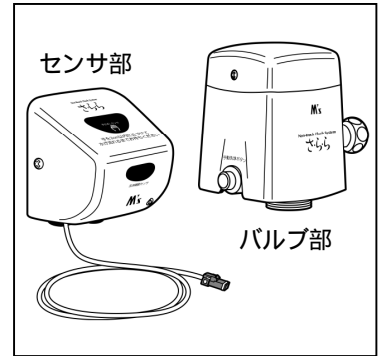


ユーザー様保管

工事店様へのお願い...必ずユーザー様へお渡してください。
工事店様用の控えが必要な場合は、下記ユーザーサポート窓口へご請求ください。

大便器ノントッチ洗浄システムさらさら 取扱説明書



分離型 DS1BT・DS1BI用

取付可能なフラッシュバルブ	DS1BT	TOTO製	TV150型、TV750型、TV700型、T150R型、T150A型
	DS1BI	INAX製	CF-10M型、CF-13M型、CF-50R型、CF-53R型 CF-110M型、CF-110MK型、CFB-110M型 CF-510R型、CF-510RK型、CF-510RP型、CFB-510R型 CF-1110M型、CF-1112M型、CF-1510R型、CF-1512R型

このたびは大便器ノントッチ洗浄システム「さらさら」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品の機能が十分に発揮されますよう、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
なお、お読みになった後は、大切に保管してください。

もくじ

- 安全上のご注意 1
- 仕様と本体寸法図 1
- 使い方(洗浄のしくみ) 2
- 取付前の確認 3・4
- 各部の名称と同梱品 4・5
- 取付手順 6・7・8・9・10
- 洗浄調節センサ感知距離の調整 11
- 洗浄水量の調節 12
- 各種洗浄機能の設定 13
- 電池交換 14
- ピストンの掃除 15
- 使用上のご注意 16
- 「故障かな?」と思ったら 16
- アフターサービスについて 裏表紙

M's <製造発売元>
株式会社ミナミサワ

〒381-0044 長野市中越1-2-22
ホームページ <http://www.minamisawa.co.jp>

ユーザーサポート窓口
TEL ☎0120-47-4647 または 026-263-3730(9:00~18:00 土・日・祝日を除く)
FAX ☎0120-263-403 または 026-263-8700(24時間)

安全上のご注意

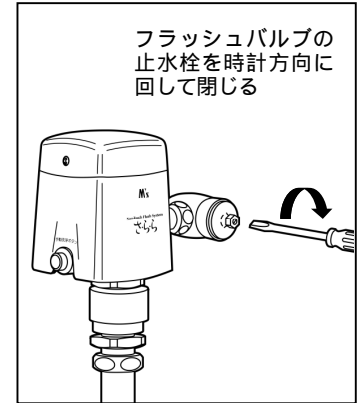
万が一、水が止まらなくなった時は、フラッシュバルブの止水栓または水道の元栓を閉じて止水してください。そのまま放置しておきますと、漏水による事故の原因となります。

大便器が詰まっている場合は、フラッシュバルブの止水栓を閉じて止水し、詰まりを取り除いてください。そのまま使用しますと、漏水による事故の原因となります。

既設の配管や接続部に腐食・ひび割れ・変形等がある場合は、取付後、水漏れの原因となります。修繕してから、お取り付けください。

修理の際は、必ず、お求めの工事店または弊社ユーザーサポート窓口へご相談ください。

乾電池に明記してある注意事項をお守りください。使用済みの電池を廃棄するときは、市町村などの指定された分別方法に従ってください。

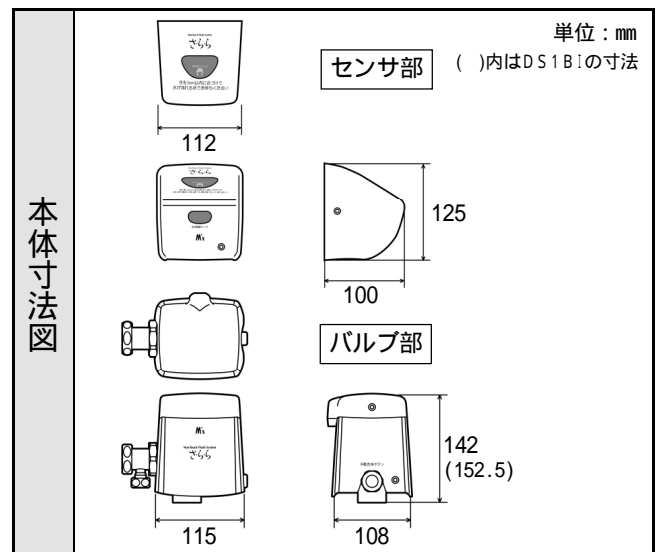


仕様と本体寸法図

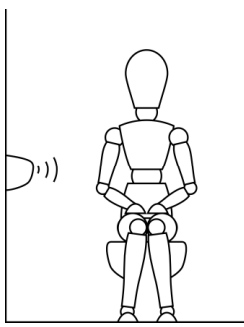
● 仕様

使用電源	アルカリ単2乾電池 2本
電池寿命	1日100回の使用で約2年間
電池交換告知	感知時に洗浄調節センサ感知窓に赤LED点滅
感知距離	洗浄調節センサ 50～80cm で4段階調整可能(出荷時50cm) 手かざしセンサ 11cm
使用温度範囲	1～40
給水圧力	最低必要水圧 0.07MPa(流動時) 最高水圧 0.75MPa
使用水	水道水
洗浄水量調整	大洗浄 8～16L 調整可能(出荷時11L) 小洗浄 6～11L 調整可能(出荷時6L)
製品寸法	バルブ部 幅115mm×高さ142mm(DS1BI 152.5mm)×奥行108mm センサ部 幅112mm×高さ125mm×奥行100mm
重量	バルブ部 2,200g センサ部 500g
外装	強化樹脂(ウレタン塗装)

感知物体が白紙30cm正方形の場合。黒っぽい着衣では感知距離が短くなり、感知しない場合があります。



使い方 (洗浄のしくみ)



「さ・ら・ら」は、洗浄調節センサが使用者を感知している時間により大便 / 小便を判断し、大洗浄と小洗浄の切替えを行い適切な水量で洗浄します。

① 使用者を感知

便器に近づくと洗浄調節センサが使用者を感知します。

男性が立位で小用を足す大便器では、洗浄調節センサの取付位置により、使用者を感知しない場合がありますが、手かざし洗浄はできます。ただし、大小洗浄の判定ができませんので、手かざし洗浄では大洗浄水量が流れます。また、流し忘れ洗浄も機能しませんので、予めご了承ください。

② 手かざし洗浄

手かざしセンサから 3 cm 以内に手を近づけ、赤感知表示ランプを 1 秒間点灯させると、下記の洗浄水が流れます。

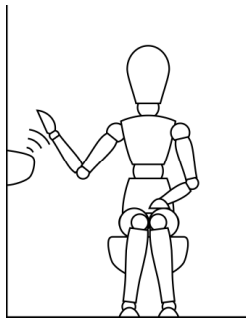
「大小洗浄の設定」が『大小』の場合 (出荷時設定)

洗浄調節センサが使用者を感知している時間により洗浄水量が変化

- ・ 感知時間が 120 / 150 秒 (設定可変) 未満 小洗浄水量
- ・ 感知時間が 120 / 150 秒 (設定可変) 以上 大洗浄水量

「大小洗浄の設定」が『大』の場合

洗浄調節センサが使用者を感知している時間にかかわらず、常に大洗浄水量ムダな洗浄を防ぐため、洗浄後約 10 秒間は、再び手かざしセンサに手を近づけても水は流れません。



● 流し忘れ洗浄

洗浄調節センサが使用者を 6 秒以上感知し、使用者が手かざし洗浄を行わずに立ち去った場合、流し忘れ防止として約 10 秒後に自動洗浄を行います。

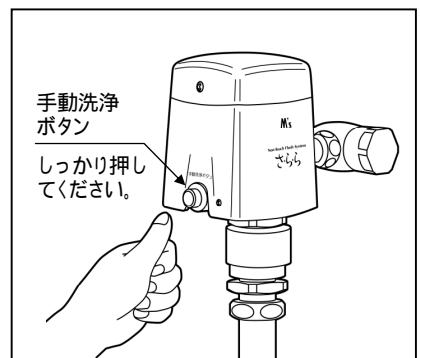
使用中 (洗浄調節センサが使用者を感知している間) に手かざし洗浄を行った場合、流し忘れ洗浄は行われません。ご注意ください。



使用者が手かざし洗浄をせずに立ち去ると、約 10 秒後に自動洗浄を行う。

● 手動洗浄

手動洗浄ボタンを押すと、水が流れます。電池切れ等で手かざし洗浄が出来ない場合や、任意に水を流したい時にご使用ください。



手動洗浄ボタン

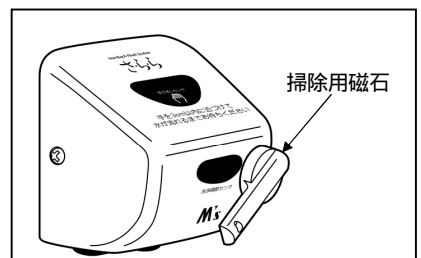
しっかり押ししてください。

● 設備保護洗浄

長時間洗浄が行われていない場合は、大便器配管保護のため、24 時間ごとに自動洗浄を行います。また、小洗浄が連続する場合は、大便器配管のつまり防止のため、使用状況に応じて大洗浄を行います。

● お掃除モード

洗浄調節センサ窓に掃除用磁石 (付属品) を近づけると、洗浄調節センサの感知機能が 10 分間停止します。10 分以内に洗浄調節センサの感知機能を復帰させたい時は、手かざし洗浄を行ってください。



掃除用磁石

取付前の確認

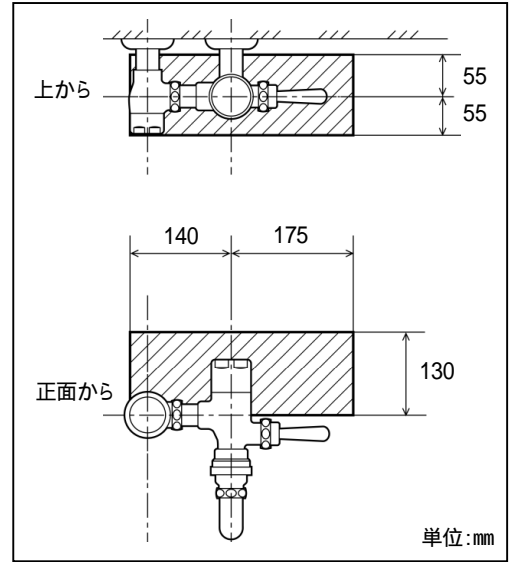
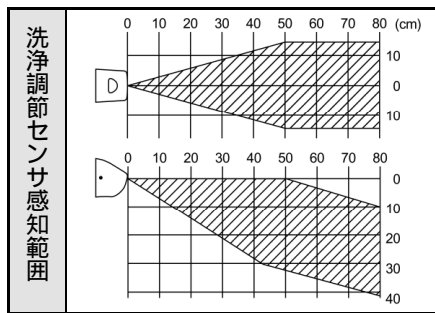
① 使用環境の確認

- ・洗浄水は、上水道をご使用ください。中水道や異物を多く含む水を使用しますと、故障の原因となりやすいので、事前にご相談ください。
- ・雨や水滴等がかかるおそれのある場所、および高温多湿な場所では使用しないでください。
- ・凍結のおそれがある場所では使用しないでください。
- ・洗浄調節センサ正面の壁がステンレス等反射しやすい場合やセンサ同士が対向する場合は、動作障害を起すことがあります。事前にご相談ください。
- ・直射日光の影響でセンサが感知しない場合があります。その場合は、シートやカーテン等で窓からの直射日光を遮ってください。

② 取付必要寸法等の確認

- ・「さ・ら・ら」分離型を取り付け、ご使用いただくにあたり、フラッシュバルブ周辺に右図の空間が必要です。ご確認ください。
- ・洗浄調節センサの感知範囲内に手すりがある場合は、動作障害を起すことがあります。事前にご相談ください。「反射防止シート」(無償)を手すりに巻いていただくことで、正常に動作する場合があります。

止水栓部がフラッシュバルブの左右どちらに連結されていても「さ・ら・ら」は取り付けできます。



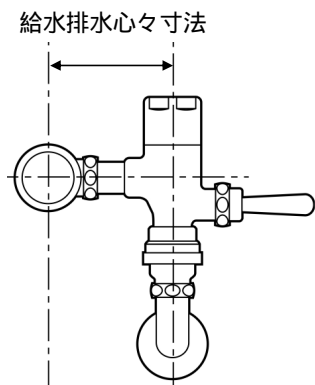
③ 給水排水心々寸法の確認

- ・お手元の「さ・ら・ら」が、お取付予定のフラッシュバルブの給水排水心々寸法(フラッシュバルブ中心から止水栓部中心まで)に合った品番であることをご確認ください。

給水排水心々寸法が 130 mm 以上の場合は、連結管延長アダプタ(別売)が必要です。

給水排水心々寸法	「さ・ら・ら」分離型 取付可能品番	
	TOTO 製フラッシュバルブ用	INAX 製フラッシュバルブ用
100 mm	DS1BT-10(受注生産品)	DS1B I-10(受注生産品)
110 mm	DS1BT-11(受注生産品)	DS1B I-11(受注生産品)
120 mm	DS1BT	DS1B I
130 mm以上	DS1BT + 連結管延長アダプタ (別売)	DS1B I + 連結管延長アダプタ (別売)

フラッシュバルブ中心から止水栓部中心までの寸法を測ってください。



連結管延長アダプタ (別売部品)	給水排水心々寸法	連結管延長アダプタの品番	
		TOTO 製フラッシュバルブ用	INAX 製フラッシュバルブ用
 <p>給水排水心々寸法が 170 mm 以上の連結管延長アダプタは、受注生産のため、お届けに 1~2 週間かかります。</p>	130 mm	ED130T	ED130 I
	140 mm	ED140T	ED140 I
	150 mm	ED150T	ED150 I
	156 mm	ED156T	ED156 I
	160 mm	ED160T	ED160 I

④ フラッシュバルブ止水栓の開閉確認

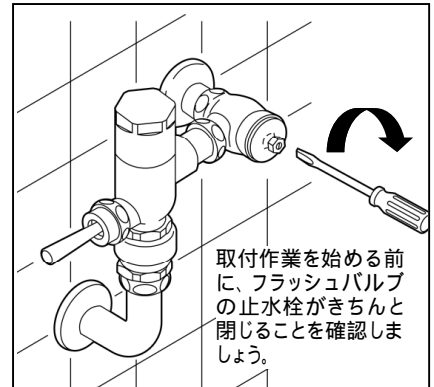
フラッシュバルブの止水栓がマイナスドライバーで開閉でき、きちんと止水できることをご確認ください。フラッシュバルブで止水できない場合は、水道元栓を開閉して作業を進めてください。

止水栓の開閉確認

止水栓をマイナスドライバーで時計と反対方向に回して全開にし、フラッシュバルブのレバーを押して水を流してください。

次に止水栓の開閉を数回繰り返して、止水栓ネジが円滑に動くようにします。

最後に時計方向に回して閉め、止水できることをご確認ください。



各部の名称と同梱品

VB = バキュームブレーカー

● 同梱品

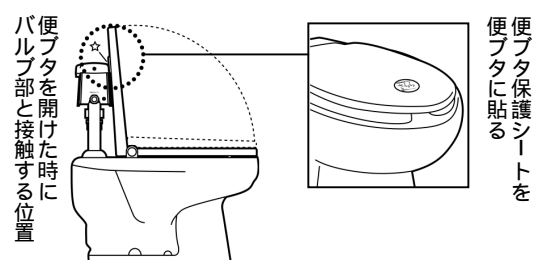
オプション（銅管用ニップル等）はご注文時に同梱指示をいただいた場合のみ同梱します。

品番	DS1BT	DS1B I
製品本体		
同梱品	止水栓側パッキンT VB用パッキンT 旧VB用パッキンT オプション ニップル用パッキン 銅管用ニップルT 	オプション 止水栓側パッキンI VB用パッキンI 銅管用ニップルI
	電池ケース アルカリ単2乾電池 2本 掃除用磁石 ミノドライバー 	洗浄管用スリップワッシャー(赤) ツバ付洗浄管用パッキン 洗浄管用パッキン 使い方ラベル 便ボタン保護シート

製品到着後に銅管ニップルが必要になった場合はユーザーサポート窓口までご連絡ください。無償でお送りいたします。

便ボタン保護シートの使い方

腰掛便器に「さ・ら・ら」分離型を取り付けた場合、右図のように便ボタンが「さ・ら・ら」バルブ部に当たる場合があります。接触による便ボタンの損傷を防ぐために、「さ・ら・ら」バルブ部と接触する位置に、便ボタン保護シートを貼ってください。

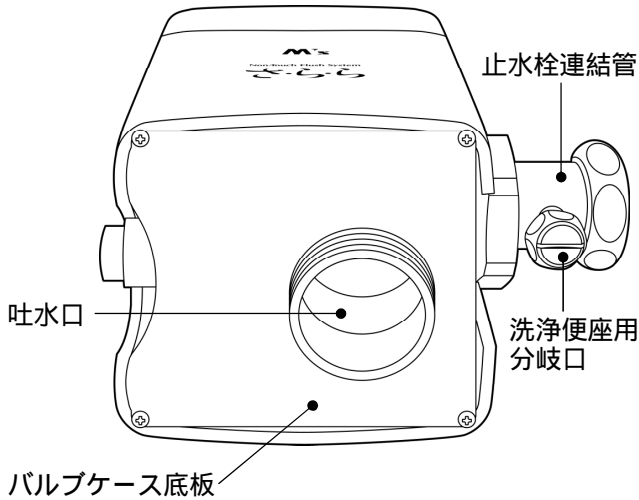
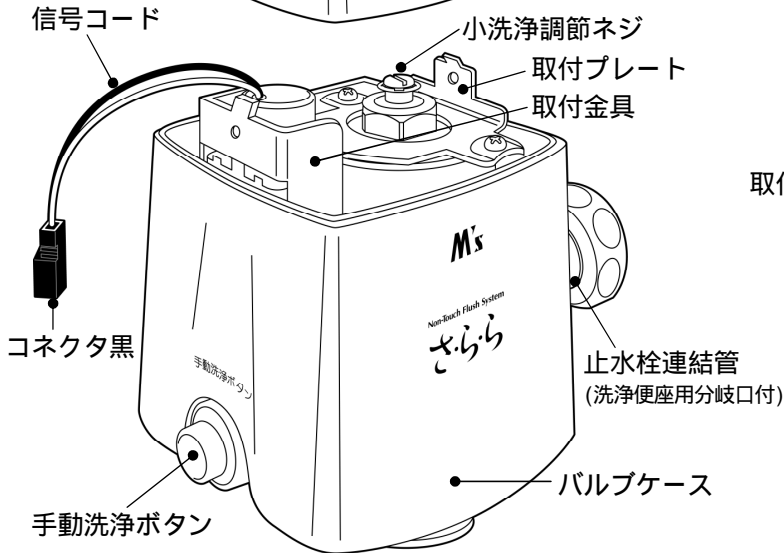
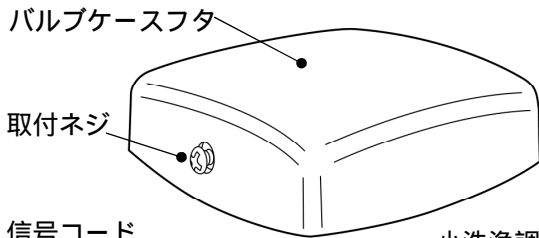
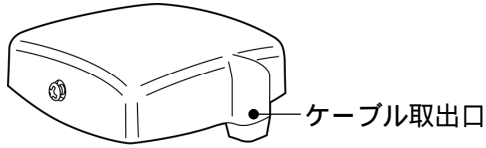


● 各部の名称

取付ネジ・電池ケース固定ネジは、抜け落ち防止機構付きです。

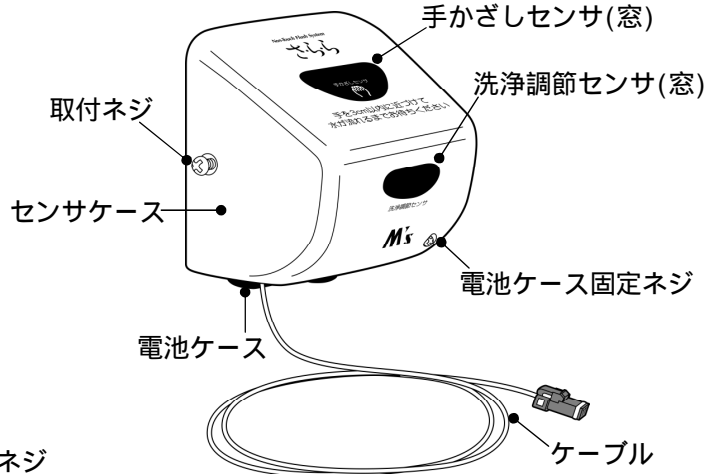
バルブ部

(バルブケースフタ背面)

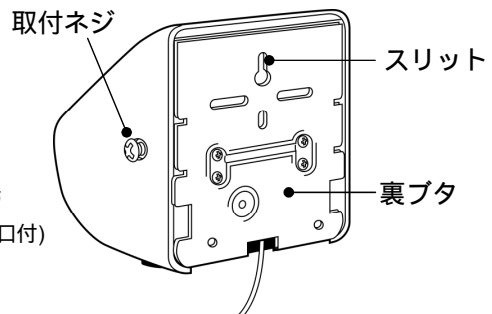


【バルブ部底部】

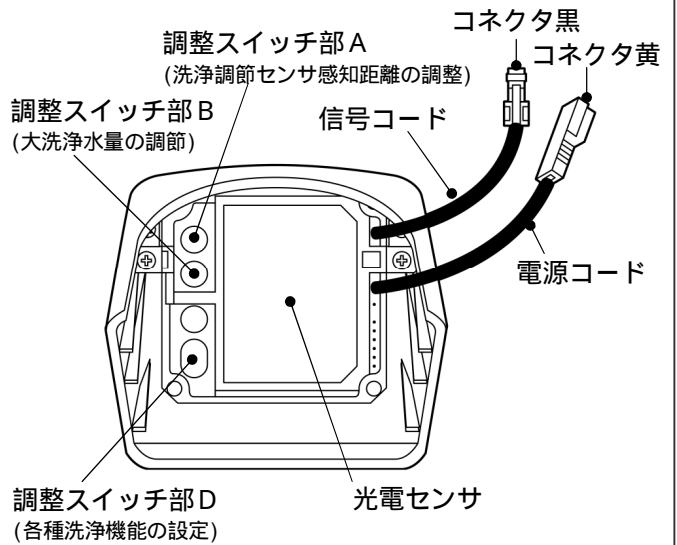
センサ部



【センサ部前から】



【センサケース裏から】

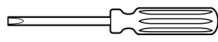


【センサケース内側】
裏ボタンを外したとき

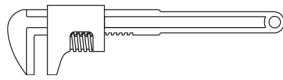
取付手順

イラストは右給水の場合
VB = バキュームブレーカー

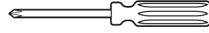
取付に必要な工具



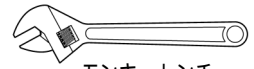
マイナスドライバー(6)



モーターレンチ



プラスドライバー(2)

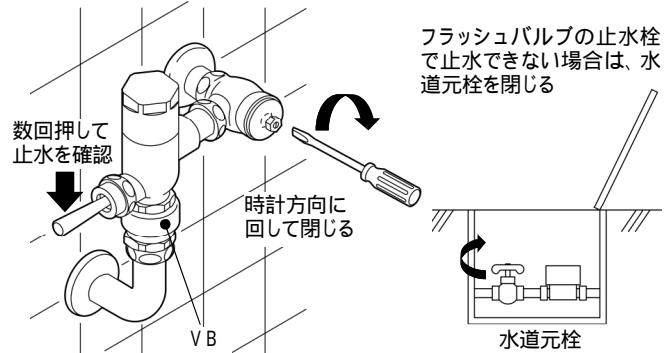


モンキーレンチ
(洗浄便座付トイレに取付の時)

1 止水栓または水道元栓を閉じる

マイナスドライバーでフラッシュバルブの止水栓を閉じる。そのあとレバーを数回押して、止水できたことを確認する。

フラッシュバルブの止水栓が閉まらない場合は、水道元栓を閉じて止水する。



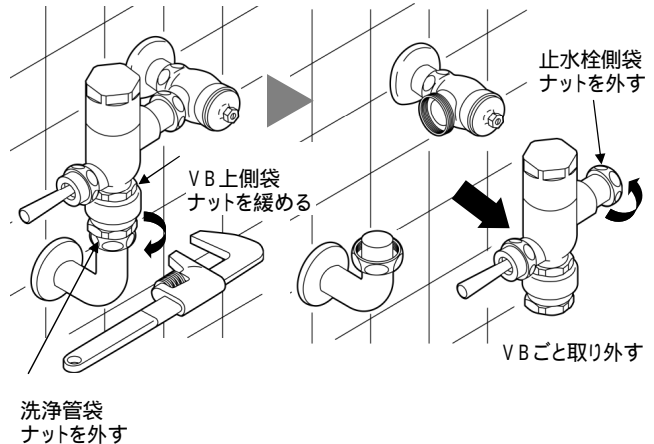
2 既設フラッシュバルブを取り外す

洗浄管袋ナットを、モーターレンチで緩めて外す。

次工程のVBの組替え作業がスムーズに行えるよう、VB上側の袋ナットをモーターレンチで少し緩める。

モーターレンチで止水栓側の袋ナットを緩めて外す。

VBごとフラッシュバルブを取り外す。



洗浄便座付トイレに取り付ける場合の注意点

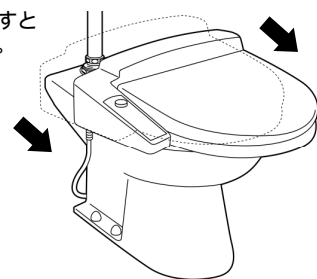
既設フラッシュバルブ取り外しの前に...

作業に支障がある場合は、洗浄便座を前方にずらして作業空間を確保してください。

モンキーレンチで洗浄便座用の給水接続を取り外してください。

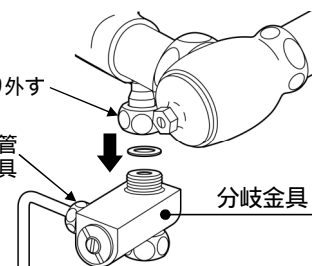
給水接続の分岐金具を取り外す際に支障がある場合は、連結管(またはホース)を分岐金具から取り外してください。

洗浄便座を前方にずらすと作業しやすくなります。



給水接続の分岐金具を取り外す

支障がある場合は、連結管(またはホース)を分岐金具から取り外す

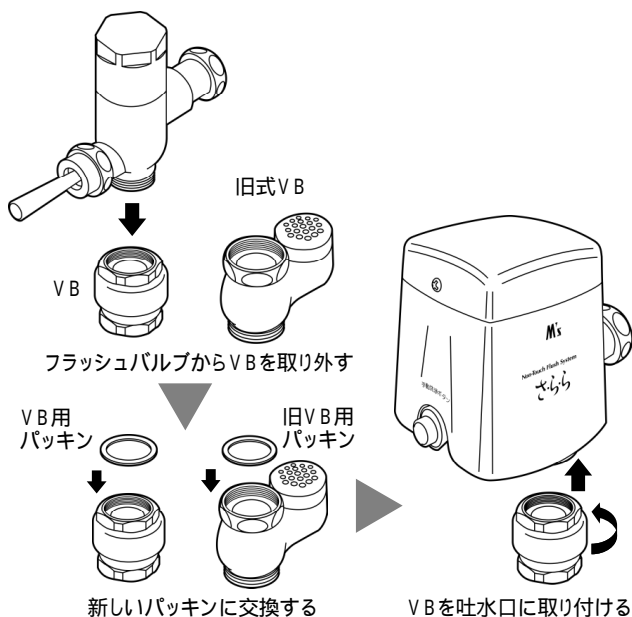


3 VBを組替える

VB上側の袋ナットをモーターレンチで更に緩めて、VBを取り外す。

VBに元々付いていたパッキンを、同梱の新しいパッキンに交換する。

VBを「さ・ら・ら」バルブ部吐水口にネジ込み、モーターレンチで軽く締める。



4 「さ・ら・ら」バルブ部を取り付ける

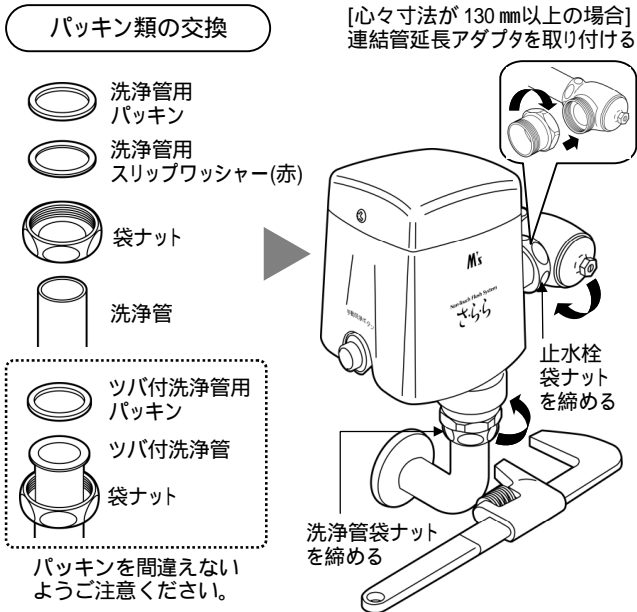
洗浄管袋ナットのスリップワッシャー(赤)とパッキンを、同梱の新しいものに交換する。

給水排水心々寸法が130mm以上の場合は、連結管延長アダプタを止水栓側開口部にネジ込み、モーターレンチで締めて固定する。

「さ・ら・ら」バルブ部をVBごと洗浄管・止水栓に固定する。

洗浄管・止水栓の袋ナットを交互に軽くネジ込んだ後、モーターレンチで締めて固定する。

左給水の場合は、バルブケースフタが後ろ向き(ケーブル取出口が前)になります。ケーブル処理後に、ケーブル取出口が後ろになるようにバルブケースフタを被せてください。(9頁参照)

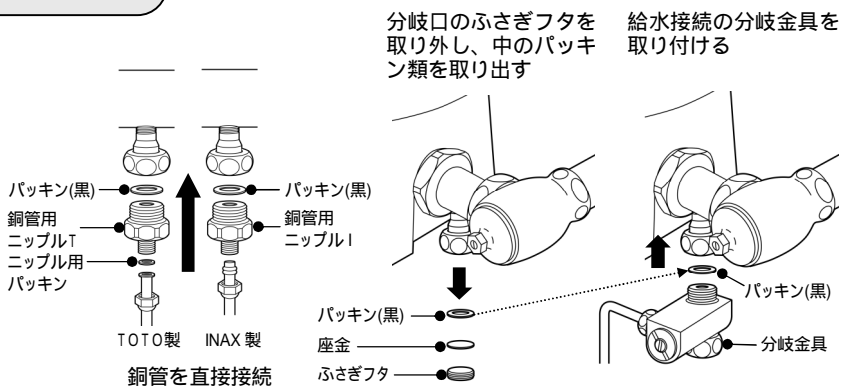


洗浄便座付トイレに取り付ける場合の注意点

モンキーレンチで、洗浄便座用給水接続の分岐金具または給水管を、連結管の分岐口に接続してください。

銅管を直接接続する場合は、「銅管用ニップル」を分岐口にネジ込んでから、銅管を接続します。

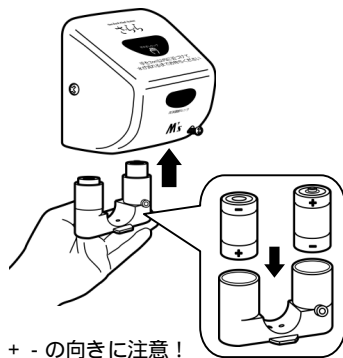
「銅管用ニップル」はオプション部品です。別途ご用意しておりますのでユーザーサポート窓口までご連絡ください。



5 「さ・ら・ら」センサ部を取り付ける

取付位置の確定

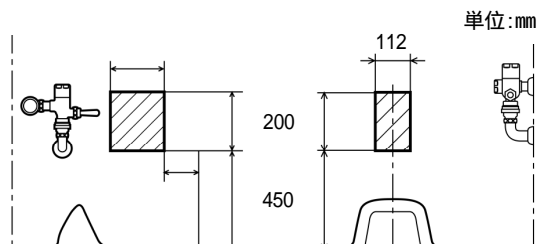
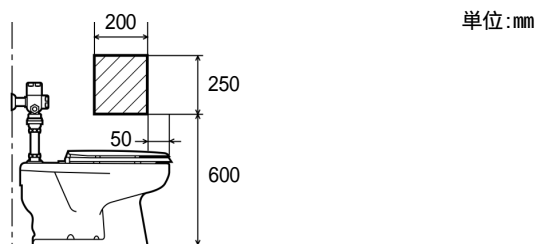
右図を参照し、センサ部の取付位置を決める。
センサ部に電池をセットし、センサが感知する状態にする。



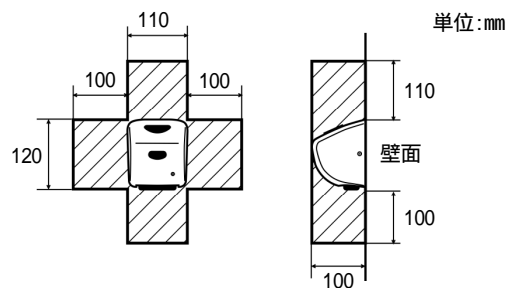
洗浄調節センサが、便器に腰掛けた状態の利用者を感知し、立ち上がった状態では感知しないような位置にセンサ部の取付位置を決め、壁面に印をする。

センサ部を取り付け、ご使用いただくにあたり、周辺に右図の空間が必要です。必要空間内にペーパーホルダーなどが付いている場合は、移設してください。

センサ部取付位置(目安)



センサ部取付寸法



センサ部の取付

プラスドライバーで電池ケース固定ネジを回らなくなるまで緩め、電池ケースごと電池を取り外す。

プラスドライバーで左右の取付ネジを緩めて、センサケースを外す。

コネクタを2箇所とも外して、センサケース裏ボタンだけにする。

壁面の印をした位置に、センサケース裏ボタンをネジで固定する。(スリット2~3箇所をネジ止め)

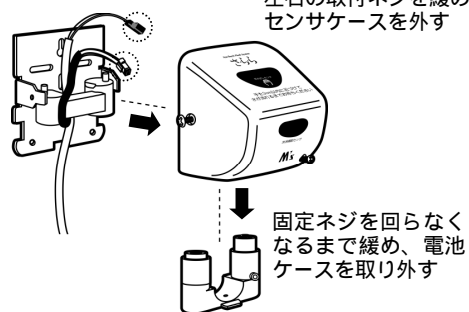
壁面がタイルの場合は、スリットをタイルの目地にあわせ、ネジで止めるようにしてください。

両面テープ(任意にご用意ください)を必要に応じてご使用ください。ただし、最後は必ずネジで固定してください。

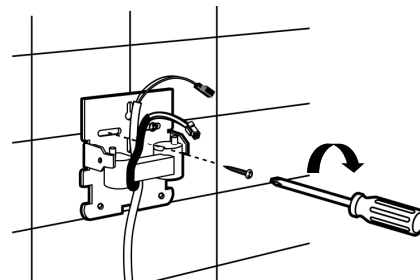
センサケースは、洗浄水量を調節した後で取り付けます。

コネクタを2箇所とも外す

左右の取付ネジを緩め
センサケースを外す



固定ネジを回らなくなるまで緩め、電池ケースを取り外す



センサケース裏ボタンをネジで壁面に固定する

電池ケースの取付・取外し方法は14頁『電池交換』を参照

6 洗浄水量を調節する

出荷時は、小洗浄 6 L / 大洗浄 11 L に調節されています。

12 頁『洗浄水量の調節』を参照し、洗浄性能を確認のうえ、適正な洗浄水量に調節してください。

小洗浄水量の調節

バルブ部にある調節ネジをマイナスドライバーで回して調節する。

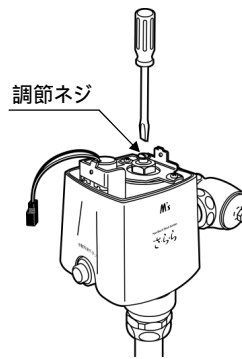
大洗浄水量の調節

センサケース内側にある調整スイッチ部 B のゴムキャップを外し、中にあるロータリースイッチを付属のミニドライバーで操作して調節する。

調節後は、コネクタを 2 箇所とも接続してからセンサケースを被せ、プラスドライバーで左右の取付ネジを締める。

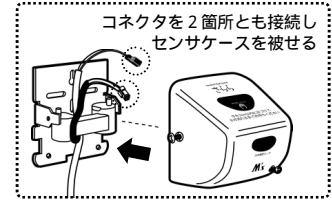
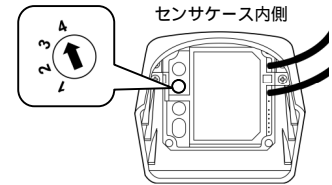
バルブケースのフタは、ケーブルを処理した後で取り付けます。

小洗浄水量の調節



大洗浄水量の調節

調整スイッチ部 B

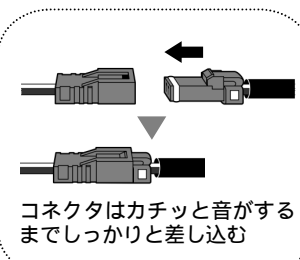
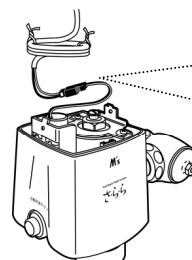


7 ケーブルを処理し、バルブケースのフタを被せる

ケーブルの処理

ケーブル先端のコネクタをバルブ部のコネクタ(黒)にしっかりと差し込む。

ケーブルは 2 m ありますので、モールでカバーして壁面にそって処理するとスッキリ仕上がります。モールは、お近くのホームセンター等でお求めください。

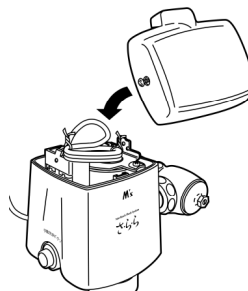


バルブケースフタの取付

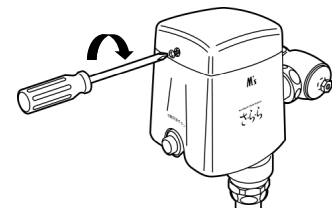
余分なケーブルを直径約 5 cm に巻き、ビニタイで 2 箇所を止める。

巻いたケーブルをバルブ部に収め、フタをケーブル取出口が後ろになるように被せる。

左右の取付ネジをプラスドライバーで締める。



ケーブル取出口からケーブルが出るように、フタを被せる

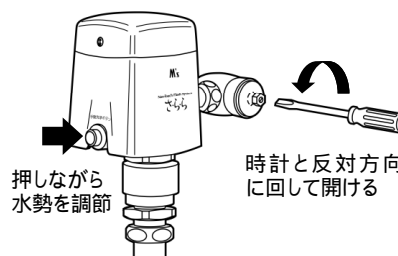


8 止水栓または水道元栓を開ける

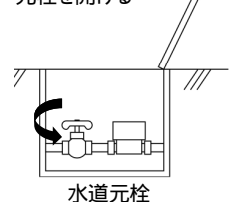
マイナスドライバーで、フラッシュバルブの止水栓を開け、手動洗浄ボタンを押しながら水勢を調節する。

接続部からの水漏れがないかを確認する。

水道元栓で止水した場合は、水道元栓を開けて、上記の作業をしてください。



水道元栓で止水した場合は、水道元栓を開ける



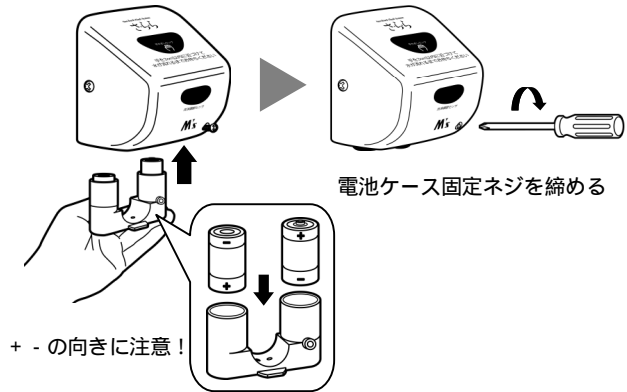
9 乾電池を装着する

電池ケースに同梱のアルカリ単 2 乾電池 (2 本) をセットする。

電池の + - の向きを間違えないようご注意ください。

電池ケースつまみ部を外側にしてセンサ部下から差し込み、軽く押し込む。

カチッと音がして電池ケースが収まったら、電池ケース固定ネジをプラスドライバーで締める。



10 動作確認 (取付完了)

動作確認は、電池装着後 10 分以内に、以下の順序で行ってください。

洗浄調節センサの感知表示ランプの点灯は、電池装着後 10 分間です。

10 分経過後は、電池を入れ直して、洗浄調節センサの感知表示ランプを点灯させてください。

動作確認の順序を変えると、動作確認ができない場合がありますのでご注意ください。

洗浄調節センサ感知距離の確認

洗浄調節センサは出荷時に 50 cm に設定してあります。

通常の使用を想定して洗浄調節センサの前にかがみ、洗浄調節センサが人体を感知し、感知表示ランプが点灯することを確認する。

感知表示ランプが点灯しない場合は、11 頁『洗浄調節センサ感知距離の調整』に従って、感知距離を長くしてください。

点灯確認後、前から立ち退き、感知表示ランプが消灯することを確認する。

前から立ち退いても感知表示ランプが消灯しない場合は、洗浄調節センサが“何か”を感知しています。センサ感知範囲内にある障害物を取り除いてください。それでも解決しない場合は、ユーザーサポート窓口までお問合せください。

流し忘れ洗浄の確認

通常の使用を想定して洗浄調節センサの前にかがみ、感知表示ランプを 6 秒以上点灯させてから立ち退く。感知表示ランプが消灯し、約 10 秒後に自動洗浄することを確認する。

先に手がざして洗浄しますと、流し忘れ洗浄の確認ができません。その場合は、いったん前を立ち退き、始めから確認作業をやり直してください。

手がざし洗浄の確認

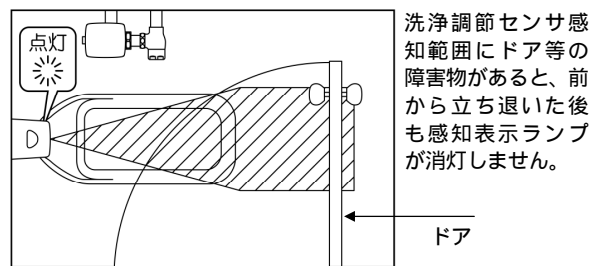
手がざしセンサに手を近づけ、感知表示ランプが約 1 秒間点灯した後、水が流れることを確認する。

一度洗浄しますと、その後約 10 秒間は手がざし洗浄ができません。ご注意ください。

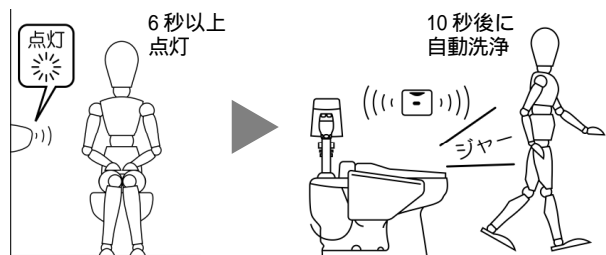
動作確認後は、同梱の「使い方ラベル」を壁面(使用者が見やすい位置)に貼ってください。

腰掛便器の場合は、必要に応じて「便ブタ保護シート」を便ブタに貼ってください。 4 頁参照

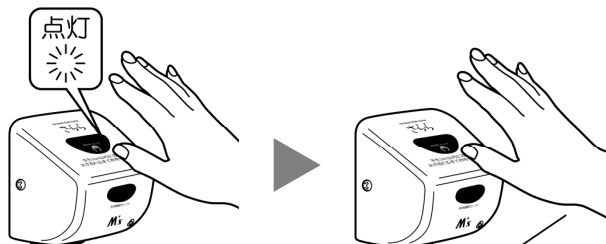
ステップ 1 洗浄調節センサ感知距離の確認



ステップ 2 流し忘れ洗浄の確認



ステップ 3 手がざし洗浄の確認



洗浄調節センサ感知距離の調整

自動センサ感知距離は、出荷時に 50 cm に設定してあります。感知距離を調整し直す必要がある時は、以下のように操作してください。

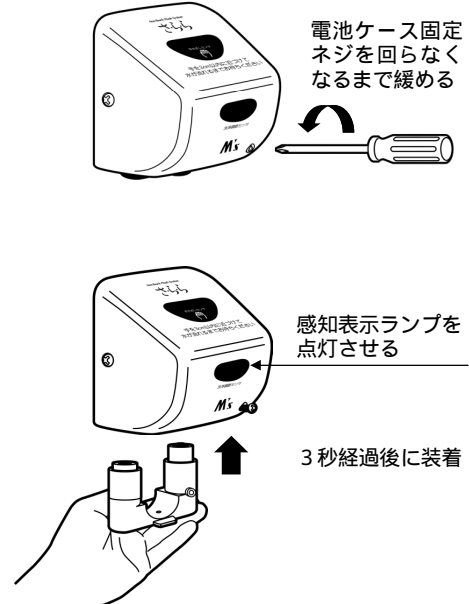
1 洗浄調節センサの感知表示ランプを点灯させる

プラスドライバーで、電池ケース固定ネジを回らなくなるまで緩める。

電池ケースを手のひら全体で押し上げる。固定金具が外れ、電池ケースが下方に外れる。

3 秒(リセットに要する時間)経過後、電池をケースごと装着し、洗浄調節センサの感知表示ランプを点灯させる。

洗浄調節センサの感知表示ランプの点灯は、電池装着後 10 分間です。感知距離の調整はその間に行ってください。



電池ケースの取外し・取付方法は 14 頁『電池交換』を参照

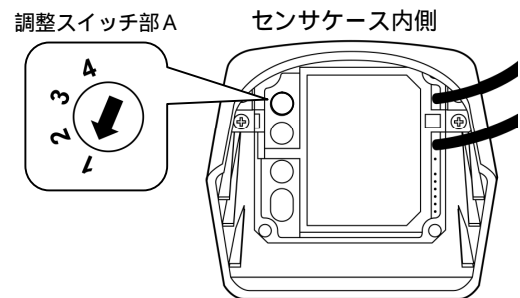
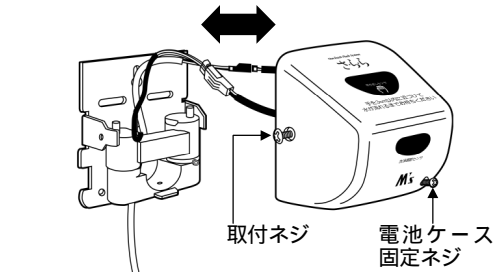
2 調整スイッチ部Aで感知距離を調整する

プラスドライバーで左右の取付ネジを緩めて、センサケースを外す。

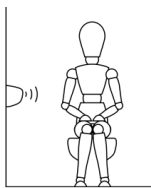
センサケース内側にある調整スイッチ部 A のゴムキャップを外し、中にあるロータリースイッチを付属のミニドライバーで操作して調整する。

調整の際、コネクタを外す必要はありません。

センサケースを被せ、プラスドライバーで左右の取付ネジ・電池ケース固定ネジを締める。



使用する位置に座っても
洗浄調節センサの感知表示
ランプが点灯しない場合



感知距離を長くする

立ち退いても
洗浄調節センサの感知表示
ランプが消灯しない場合



感知距離を短くする

ロータリー スイッチ	1	2	3	4
感知距離 (単位: cm)	50	60	70	80

出荷時設定 / 50 cm

洗浄水量の調節

出荷時は、小洗浄 6 L / 大洗浄 11 L に調節されています。確実に洗浄できることを下記方法で確認し、適正な洗浄水量に調節してください。

洗浄性能の確認

確認作業は、必ず水量の少ない小洗浄で行ってください。汚物流し等で、大洗浄のみ使用される場合はこの限りではありません。

約 76 cm に切ったトイレトーパー（JIS 規格品または同等品）を丸めたもの 7 個が、1 度に流れ去ることを確認してください。 - JIS 規格「大便器洗浄試験」に基づく -

洗浄調節センサが人を感知している状態で、手かざしセンサに手を近づけると小洗浄を行います。

洗浄調節センサが人を感知していない状態で、手かざしセンサに手を近づけると大洗浄が行われますので、ご注意ください。

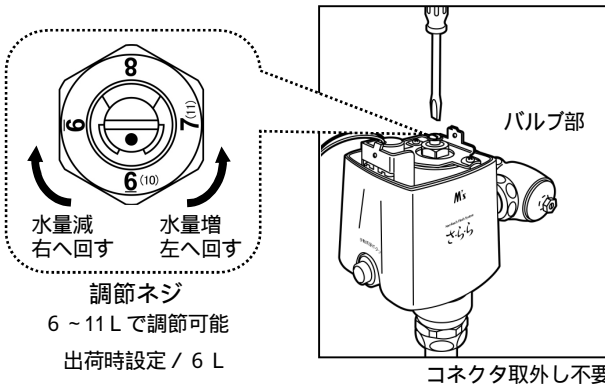
ステップ1

止水栓の開閉で水量・水勢を調節する

止水栓をマイナスドライバーで開閉し、水量・水勢を調節してください。それでも、適正な水量に調節できない場合は、以下のように小洗浄 / 大洗浄の水量を調節してください。

ステップ2

バルブ部の調節ネジで小洗浄水量を調節する



左右の取付ネジを緩めて、バルブケースフタを取り外す。バルブ部にある調節ネジをマイナスドライバーで回して、小洗浄水量を調節する。

水量を増やしたい場合は調節ネジを左へ回し、水量を減らしたい場合は調節ネジを右へ回す。

バルブケースフタを被せ、左右の取付ネジを締める。

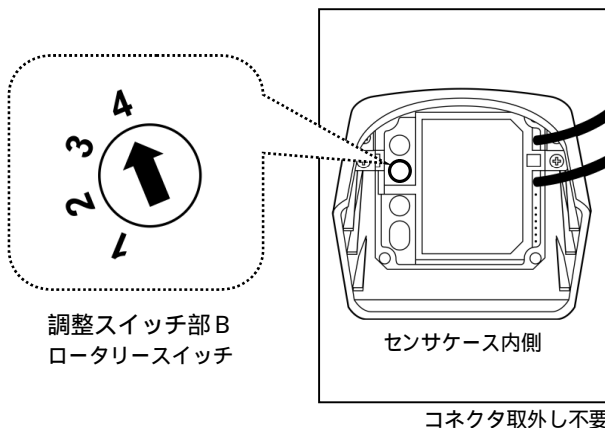
< 現在の設定水量がわからない場合は... >

調節ネジを右に回しきり、そこから一回転左へ回すと約 7 L に設定できます。

ステップ3

センサケース内側の調整スイッチ部Bで大洗浄水量を調節する

小洗浄水量を 6 L より増やした場合は、大洗浄水量を調節することにより節水できます。各便器メーカーがカタログ等で推奨している便器の洗浄水量を参考に、大洗浄水量を調節してください。



電池ケース固定ネジと左右の取付ネジを緩めて、センサケースを取り外す。

センサケース内側にある調整スイッチ部Bのゴムキャップを外し、中のロータリースイッチを付属のミニドライバーで操作して大洗浄水量を調節する。

センサケース被せ、左右の取付ネジと電池ケース固定ネジを締める。

ロータリースイッチ	1	2	3	4
大洗浄水量	小洗浄水量 + 2 L	小洗浄水量 + 3 L	小洗浄水量 + 4 L	小洗浄水量 + 5 L

出荷時設定 / 小洗浄水量 + 5 L (= 11 L)

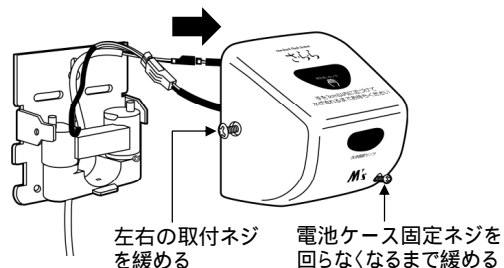
汚物流しの場合は、洗浄に 16 L 以上の水量が必要です。

汚物流しにお取付の場合は、大洗浄水量を 16 L に設定してお使いください。また、必ず、「大小洗浄の設定」を『大』に設定してください。（13 頁参照）「大小洗浄の設定」を『大』に設定せずお使いになると、洗浄不良の原因となりますのでご注意ください。

各種洗浄機能の設定

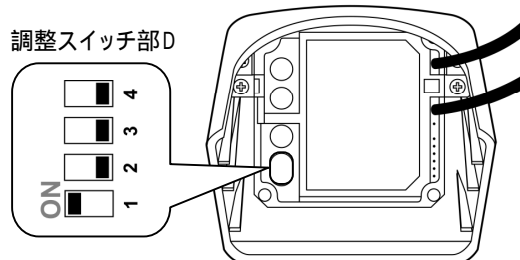
1 センサケースを外す

プラスドライバーで、電池ケース固定ネジ・左右の取付ネジを緩めて、センサケースを取り外す。
コネクタを外す必要はありません。

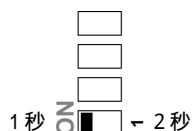


2 スイッチを操作し設定する

センサケース内側にある調整スイッチ部Dのゴムキャップを外し、中の4つのスイッチをそれぞれ付属のミニドライバーで操作し設定する。



手かざし時間の設定 スイッチ1を切替える



手かざしセンサに手を近づけ感知表示ランプが点灯してから水が流れるまでの時間を設定できます。

出荷時設定 / 1秒 (感知表示ランプ点灯1秒後に洗浄する)

流し忘れ洗浄の設定 スイッチ2を切替える



使用者が手かざし洗浄をしないで立ち去った場合に、流し忘れ洗浄を行うかどうかを設定できます。

出荷時設定 / 入 (流し忘れ洗浄を行う)

流し忘れ洗浄は、使用者が手かざし洗浄をしないで立ち去った場合、約10秒後に行われます。

大小洗浄の設定 スイッチ3を切替える

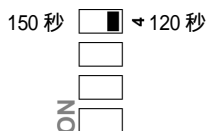


洗浄調節センサが使用者を感知している時間によって大小洗浄の判定を行う(大小)か、感知している時間にかかわらず常に大洗浄を行う(大)かを設定できます。

出荷時設定 / 大小 (大小洗浄の判定を行う)

汚物流しに取り付ける場合は、必ず「大」に設定してください。

小洗浄判定時間の設定 スイッチ4を切替える



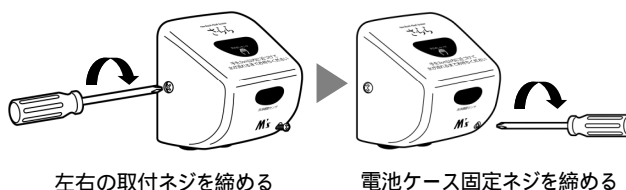
洗浄調節センサで大小洗浄の判定を行う場合の感知時間を設定します。

出荷時設定 / 120秒 (120秒以上使用者を感知した場合は大洗浄水量を流す)

大小洗浄の設定が「大小」になっている場合のみ有効です。

3 センサケースを取り付ける

センサケースを被せ、プラスドライバーで左右の取付ネジ・電池ケース固定ネジを締める。



電池交換

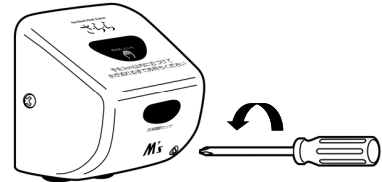
電池が消耗し電圧が低下すると、使用者を感知する度に洗浄調節センサの感知表示ランプが点滅します。(1秒間隔で最大15回点滅)このサインが出たら、早めに電池を交換してください。

上記の電池交換サインが出てもしばらくは通常動作を続けますが、やがて洗浄調節センサ・手かざしセンサの感知表示ランプが常時点滅(4秒間隔)し、洗浄機能が停止します。

電源にはアルカリ単2乾電池を2本使用しています。電池寿命は、1日100回の使用で約2年間です。

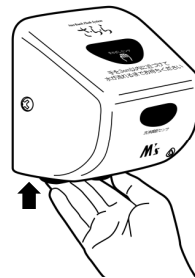
1 電池ケース固定ネジを緩める

プラスドライバーで、センサ部の電池ケース固定ネジを回らなくなるまで緩める。

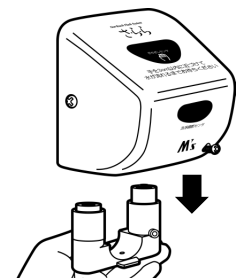


2 電池ケースを取り外す

電池ケース底部を手のひら全体で押し上げる。カチッと音がしてケースの固定金具が外れ、電池ケースが下方向へ外れる。



電池ケースを上へ押すと固定金具が外れる

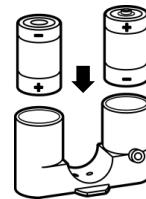


電池ケースが下方向へ外れる

3 新しい電池に交換する

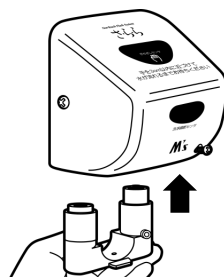
外した電池ケースから古い電池を取り出し、新しいアルカリ単2乾電池(2本)をセットする。

電池の+・-の向きを間違えないようご注意ください。

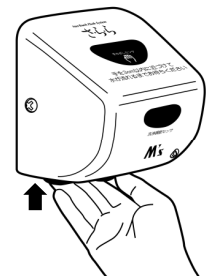


4 電池ケースを装着する

電池ケースつまみ部を外側にしてセンサ部下から差し込み、軽く押し込む。カチッと音がして電池ケースが固定される。



電池ケースを差し込む

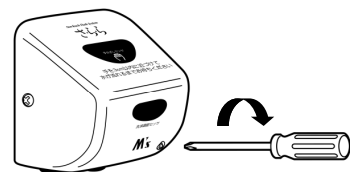


上へ軽く押し込むと、カチッと音がして固定される

5 電池ケース固定ネジを締める

プラスドライバーで、電池ケース固定ネジを締めつけて固定する。

電池ケース固定ネジを締めませんと、清掃時等に電池ケースを下から押しただけで電池ケースが外れ、脱落するおそれがあります。ご注意ください。



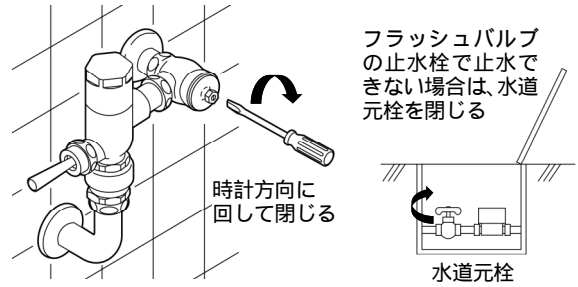
ピストンの掃除

「水が流れない」または「水が止まらない」ときは、以下の手順でピストンを掃除してください。

1 止水栓または水道元栓を閉じる

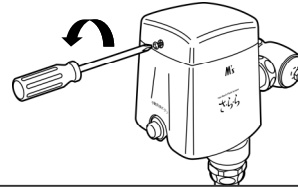
マイナスドライバーで、フラッシュバルブの止水栓を閉じる。

フラッシュバルブの止水栓が閉まらない場合は、水道元栓を閉じて止水してください。



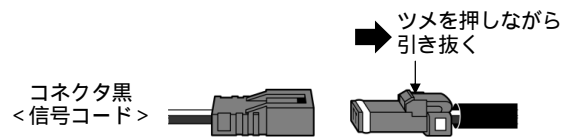
2 バルブケースフタを外す

プラスドライバーで左右の取付ネジを緩めて、バルブケースフタを取り外す。



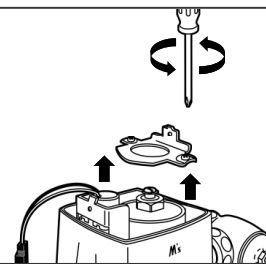
3 コネクタを外す

黒色のコネクタを外し、外したケーブルを水のかからない安全な場所に置く。



4 取付プレートを外す

プラスドライバーで2本のネジを緩め、取付プレートを取り外す。

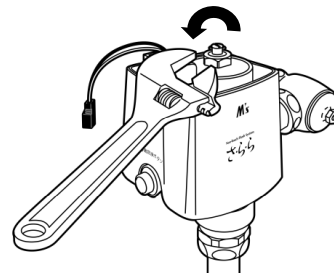


5 ピストンバルブ部フタを外す

モンキーレンチをフタの六角ナットにかけて時計と反対方向に回し、フタを取り外す。

バルブ内面にフタのパッキンが密着していますので、回しにくい場合があります。

モンキーレンチでコードを傷つけないよう、十分ご注意ください。



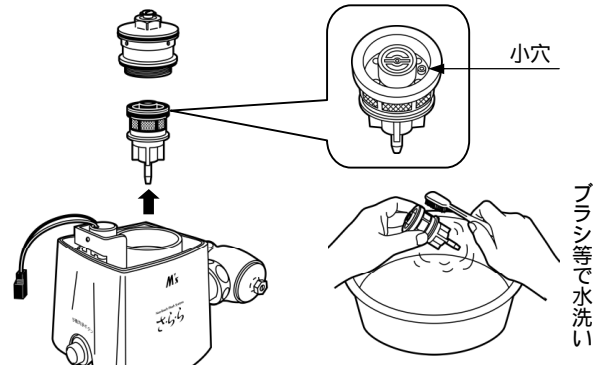
6 ピストンを掃除する

フィルタの掃除

バルブ内のピストンを取り出し、ブラシなどでこすりながら水洗いし、フィルタの網に詰まったゴミや汚れを取り除く。

小穴の掃除

小穴にゴミが詰まった場合は、細い針金(荷札の針金等)で掃除する。



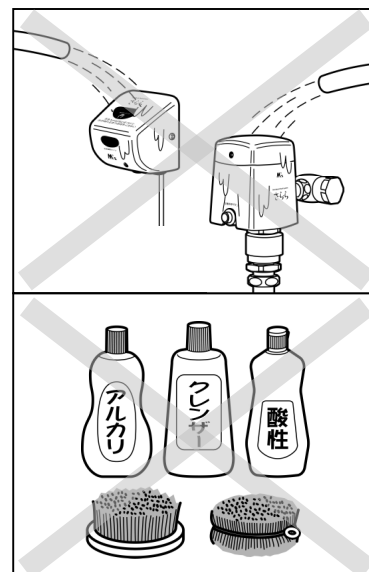
7 ピストンをバルブに戻し、元通りに組み立てる

1～6までと逆の手順で元通りに組み立て、フラッシュバルブの止水栓を開けて動作を確認する。コネクタはカチッと音がするまでしっかりと差し込み、確実に接続してください。

使用上のご注意

本製品は電子機器です。丁寧に扱い、衝撃等を与えないでください。
 本製品に、直接、水をかけないでください。故障の原因となります。
 手かざしセンサ及び洗浄調節センサの窓部を、傷つけたり、汚したりしないようご注意ください。誤動作の原因となります。
 お手入れの際は、次の点にご確認ください。

- ・汚れは乾いた布、または水をよく絞った布で拭いてください。汚れがひどい場合は、適量に薄めた食器用中性洗剤を含ませた布で拭いた後、水をよく絞った布で拭いてください。
- ・酸性・アルカリ性洗剤、クレンザー類、シンナー・ベンジン等の溶剤は使用しないでください。外装が傷ついたり、化学変化を起こして変質・変色します。
- ・ナイロンたわしやブラシ等は使用しないでください。外装を損傷します。



「故障かな？」と思ったら

“故障かな？”と思ったら、以下の事項をご確認ください。それでも状況が改善されない場合は、ユーザーサポート窓口 ☎ 0120 - 47 - 4647へお問合せください。

現象	原因	処置	参照頁	
水が流れない	手動洗浄ボタンで水が流れる	電池が消耗している	新しい電池に交換する	14
		電池が正しく装着されていない	電池を正しく入れ直す	14
		電池が入っていない	電池を入れる	14
	手動洗浄ボタンで水が流れない	センサ窓部が汚れている	汚れを拭き取る	16
		手かざしセンサの上、または洗浄調節センサの前に障害物がある	障害物を取り除く、または洗浄調節センサ前に障害物がある場合は感知距離を短くする	10~11
		コネクタがきちんと接続されていない	コネクタをしっかりと差し込む	9
水が止まらない	断水中	回復するまで待つ		
	水道元栓が閉じている	水道元栓を開ける	9	
洗浄水量が少ない	止水栓が閉じている	止水栓を開ける	9	
	ピストンのフィルタが目詰まり	ピストンのフィルタを掃除する	15	
水が止まらない	ピストンの小穴目詰まり	ピストンの小穴を掃除する	15	
	ピストンのフィルタが目詰まり	ピストンのフィルタを掃除する	15	
洗浄水量が少ない	止水栓の開け方が不足している	適正水量になるまで止水栓を開ける	12	
	洗浄水量調節が不適切	「大洗浄」「小洗浄」両方の水量を調節する	12	

<その他>

使用者を感知すると洗浄調節センサ窓に感知表示ランプが点滅する	電池交換サインです。新しい電池に交換してください。	14
休日や夜間など、誰も使用していないのに水が流れる	最終使用から24時間ごとに行われる設備保護洗浄で、故障ではありません。	2